

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	提案したいずれか1企画のみ実施可能
--------------------	-------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんひろしまこうきょうがくきょうかい	団体ウェブサイトURL	http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 妹尾雅雄		
制作団体所在地	〒 730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F	最寄り駅(バス停)	舟入本町駅
電話番号	082-532-3080		
ふりがな 公演団体名	ひろしまこうきょうがくだん 広島交響楽団	団体ウェブサイトURL	http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	音楽総監督 下野竜也		
公演団体所在地	〒 730-0842 広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル2F	最寄り駅(バス停)	舟入本町駅
制作団体 設立年月	1963年 10月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:池田晃治 副会長:岡島鉄也,田村興造,松村誠 理事長:妹尾雅雄 専務理事:草田博 常務理事:畑中修 執行理事:花谷尚二 他理事:23名 監事:木村満,新納慎治 事務局長:井形健児 管理部長:山本章彦 (公認会計士)田中 茂	(1)団体構成員/音楽総監督1名、終身名誉指揮者1名、コンサートマスター2名、首席奏者11名、団員70名(内空席12名、順次補充予定)計76名 (2)主な構成員/音楽総監督:下野竜也(2024年3月まで)、終身名誉指揮者:秋山和慶、コンサートミストレス:蔵川瑠美、首席ヴィオラ奏者:安保恵麻、首席チェロ奏者:マーティン・スタンツェライト (3)加入条件/楽団員は、公募のオーディションにより採用	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	宇津志忠章(事業課長) 金森陽大(担当)
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	畑中修(常務理事)
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	kanamori@hirokyo.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和38年10月「広島市民交響楽団」として発足。昭和44年広島交響楽団と改称。昭和47年9月社団法人「広島交響楽協会」の認可を受けプロの楽団として改組。昭和59年5月渡邊暁雄が音楽監督に就任。昭和61年4月高関健が音楽監督就任。平成2年4月田中良和が音楽監督就任。平成6年5月十束尚宏が音楽監督就任。秋山和慶が平成10年4月に首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任の後、平成16年4月より常任指揮者に就任。平成29年4月より下野竜也が音楽総監督に就任し、秋山和慶は終身名誉指揮者に就任。2024年度からはクリスティアン・アルミンクが音楽総監督に就任予定。平成3年ウィーン・プラハ「国連平和コンサート」2公演、平成9年フランス「ノルマンディーの10月」音楽祭2公演、平成15年ロシア・サンクトペテルブルク2公演、平成17年日韓友情年・韓国公演3公演の海外公演を行う。平成23年4月公益社団法人に移行。平成27年8月終戦・被爆70年の周年事業として「平和のタベ」コンサートを初のサントリーホールにて開催、ソリストにマルタ・アルゲリッチを迎え、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、天覧公演を行った。平成28年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに、令和元年7月に細川俊夫がコンポーザー・イン・レジデンスに就任。令和5年10月には創立60周年を迎える。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>小学校～高校生を対象とした『オーケストラ音楽鑑賞教室』を毎年20～30公演、学校の体育館などで実施しています。また、当団の主催事業として地域内を巡回する青少年向けのコンサート『マイタウンオーケストラ広響』のほか、広島市等の派遣事業等で、児童を対象としたワークショップやアウトリーチの実績もあります。</p> <p>《令和4年度実績》 オーケストラ音楽鑑賞教室 17回 計5,746名が鑑賞 巡回演奏会「マイタウンオーケストラ広響」1回 計883名が鑑賞</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>音楽鑑賞教室などでの公演実績があります。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 広島交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	ようこそ！オーケストラの世界へ ～ベートーヴェンからはじまるシンフォニック・ワールド～				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【第1部:交響曲を生で聴いてみよう!】</p> <p>① ベートーヴェン:交響曲第5番 ハ短調 作品65『運命』(全曲) 第1楽章 アレグロ・コン・プリオ(快速に、生き生きと) 第2楽章 アンダンテ・コン・モト(歩くような速さで、動きを持って) 第3楽章 アレグロ(快速に) 第4楽章 アレグロ ～休憩～</p> <p>【第2部:オーケストラを楽しもう!】</p> <p>② マエストロの楽器紹介『クイズ de オーケストラ』(♪ジョン・ウィリアムズ:『スターウォーズ』メインテーマ) ③ J.S.バッハ:G線上のアリア(管弦楽組曲第3番より) ～あなたも名指揮者～ ④ 指揮者体験コーナー(♪ブラームス:ハンガリー舞曲 第5番より) ～みんなで歌おう!～ ⑤ 校歌 ～全身で感じよう!迫力のサウンド～ ⑥ ホルスト:組曲『惑星』より 木星 (アンコール) ♪外山雄三:管弦楽のためのラプソディー より『八木節』</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	採択後手続き予定	
演目概要	別添①				
演目選択理由	別添①				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	別添①				
出演者	<p>指揮とお話:【6月】鈴木織衛/【10月】下野竜也 管弦楽:広島交響楽団 (編成予定) 1stヴァイオリン:12, 2ndヴァイオリン:10, ヴィオラ:8, チェロ:7, コントラバス:5 フルート:3, オーボエ:3, クラリネット:3, ファゴット:3 ホルン:6, トランペット:4, トロンボーン:3, テューバ:1 ティパニー&パーカッション:5 ハープ:1</p> <p>※プロフィールは別添②③を参照</p>				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 75 名		運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 7 名			車長: 9.69 m	
	合計: 82 名			台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	10:00	10:00~12:00	13:30~15:00	10分	15:00~16:00	16:00

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日				9日	
	11月	12月	1月	計	19日	

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	会場に収容できる人数
		鑑賞人数目安	会場に収容できる人数



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

【公演の様子】

■ 舞台は使用せず、写真の様に舞台前のフロアで演奏いたします。
(※体育館が狭い場合は、体育館の横方向に設置する場合があります)

■ 演奏に必要な広さは、間口22m 奥行10mです。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 広島交響楽団 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	40名程度 音楽室等一般の教室で実施できる規模
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>●オーケストラの演奏者4名を派遣し、オーケストラやオーケストラで使われている楽器について、実演を交えて学んでいただくほか、本公演で演奏するベートーヴェン:「運命」を存分に楽しんでいただけるよう、楽曲の意外な面白さや聴き方などを知っていただく、レクチャー・コンサート形式のワークショップとなっております。</p> <p>ワークショップの途中では楽器体験コーナーを設けており、楽器を実際に触ってみたり、音を出してみたりすることができます。</p> <p>またご希望があれば、吹奏楽部の指導などにも対応させていただきます。</p> <p>【実施内容例】 演奏者:4名 (弦楽器1名・木管楽器1名・金管楽器1名・打楽器1名、もしくは弦楽四重奏などで実施)</p> <p><第1部>オーケストラで使われている楽器について学ぼう</p> <p>●オープニング演奏</p> <p>●楽器紹介～オーケストラではどんな楽器が使われているの?～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弦楽器 ○木管楽器 ○金管楽器 ○打楽器 ○指揮者 <p>●楽器体験コーナー!～好きな楽器で音を出してみよう～</p> <p><第2部>ベートーヴェン:「運命」について学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ベートーヴェンってどんな人? ○「運命の動機」はどうやって出来た? ○意外な所にも「運命の動機」が登場! ○「運命」ききどころ紹介!など、「運命」を聴くのが楽しくなるようなレクチャーをします! <p>●エンディング演奏</p>		
ワークショップの ねらい	<p>ワークショップでは、プロの演奏家たちによる実演や解説を行うことにより、楽器やオーケストラに興味を持っていただき、本公演の内容への関心を高めることをねらいとしています。</p> <p>本公演で全楽章を鑑賞していただくベートーヴェン交響曲第5番「運命」については、演奏家にとっての演奏意義を含めた作品の内容についての詳しいレクチャーを行うことによって、本公演でより興味を持って鑑賞いただけるように導入しておきます。</p> <p>また、楽器・オーケストラの紹介では体験用のヴァイオリンを用意して実際に触れていただくなど、より身近にオーケストラと演奏家を感じていただけるように工夫しながら、子供たちと演奏者との交流を深めることによって、本公演への期待感が膨らむように企画しています。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">ワークショップの様子</div> </div>		

本事業への申請理由

【公演団体名 広島交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 文化や社会の担い手となる子供たちにとって、文化芸術に直接触れる機会は非常に重要であると考えています。文化芸術と関わる中で培われる発想力やコミュニケーション能力は、文化の発展や、より良く高度な社会の形成のため、万人に必要とされるものです。 当団は、活動の黎明期から児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室や、青少年向けのコンサート事業に取り組んでいます。しかしながら昨今の少子化や学校組織の予算の逼迫により、小規模校や遠隔地域での活動は著しく困難であることが現状です。本来は文化芸術振興基本法の基本理念にある通り、経済や地域の格差なく文化芸術を鑑賞する機会を提供すべきであり、当団も広く活動を展開したいと強く考えておりますが、単独の団体では運営上予算等の制約が大きく、対応が困難な場合が多いことが事実です。 そうした状況下において、「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的」として実施される本事業は、実施先の規模や状況に影響されずに文化芸術の鑑賞・体験機会を均等に提供するものであり、芸術団体として大変有り難く、また非常に意義のあるものであると捉えて申請させていただきます。</p> <p>特に昨年度からは、音楽総監督を務める下野竜也の豊かな文化を格差なく子供たちにとどけたいという「心のこども食堂」ともいうべき想いと、そのためにも当団の分野であるオーケストラにとって重要な交響作品を抜粋ではなく完全な形で届けたいという願いを汲んだ内容にしております。評価が定まり、演奏側としては定番と考え誰もが一度は実演に接するだろうと思う作品でも、昨今の家庭環境や地域格差においては、本事業での体験のみが一期一会の機会になるかもしれない児童・生徒も多いものと考え、全力を込めた演奏を届ける所存です。 未来の担い手となる子供たちの周りに多様な文化が溢れているということは、私たち芸術団体が切に望む社会の有り様であり、微力ながらも本事業の主旨に貢献できればと存じます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 ・事業を効果的に実施するために 音楽の魅力が十分に伝わる選曲を行い、質の高い演奏を届けることで、子供たちの感性を刺激し、音楽やオーケストラに対する関心を持ってもらうように企画しています。特に優れた交響作品を通常のコンサート同様に丸々一曲鑑賞していただくことで、本種目(オーケストラ)における最大の魅力である作品の構成やオーケストラならではの迫力と感動を体験していただきます。また参加部分の内容は親しみやすさと分かりやすさに重点をおき、本格的な鑑賞部分を補完する形で、能動的に音楽に係ることの楽しさを体験いただくことで音楽を愛する心を育み、積極的な自己発信と豊かな情操を培うことを狙います。</p> <p>・事業を円滑に実施するために 学校と密なコミュニケーションを取るよう徹底いたします。事前に学校の準備内容などの資料をお送りし、丁寧に説明差し上げた上で、ワークショップの際には本公演についての打合せも行わせていただきます。また申請時から学校の学校長や担当教諭が代わられた場合には、改めて事業趣旨についてご案内差し上げ、十分にご理解いただくよう努めます。 学校の実施環境などで必要な事案があれば、各教育委員会などの地元主催者と連絡を取りながらご相談いたします。 演奏者にも事業趣旨の理解を促し、より効果的な内容となるよう取り組んで参ります。</p>
--	---

リンク先	No.2	【公演団体名 広島交響楽団】
演目概要	<p>① ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」…現代において「ベートーヴェンの運命」といえば、誰もが知る名作ですが、この曲の存在が、後の交響曲作家に多大なる影響を与えたことから、「運命交響曲」の誕生がクラシック音楽の長い歴史の中での一つの転換期になったと言える重要な作品です。しかしながら、残念な事に我が国で一般的に有名なのは冒頭の「運命の動機」のみで、この曲の本当の凄さを理解するには、全楽章を体験(聴いて)いただかないと伝わりません。耳が聴こえない絶望を乗り越え、ベートーヴェンの不屈の精神が、各楽章を追うごとに「運命の動機」となって様々に展開され、勝利のクライマックスへと導きます。その感動を子供たちに体験いただきたいと思います。</p> <p>③ J.S.バッハ:G線上のアリア…音楽の父バッハの作品。この曲の大変美しい旋律やハーモニーの動きには、心を動かされます。</p> <p>⑥ ホルスト:組曲『惑星』より木星…公演の最後には、大迫力のオーケストラサウンドを体験いただきます。組曲『惑星』はイギリスの作曲家ホルストによる最高傑作。「木星」はとりわけ人気があり、中間部の情熱的な旋律は「イギリスの第二の国歌」と言われるほど親しまれています。</p> <p>(アンコール曲)外山雄三:管弦楽のためのラプソディー より 八木節…今年お亡くなりになられた、日本を代表する作曲家、外山雄三氏がNHK交響楽団の海外ツアーのために1960年に作曲(編曲)された作品です。今回はアンコール曲として、最も賑やかな「八木節」をお届けします。</p>	
演目選択理由	<p>広島交響楽団音楽総監督がこの度の公演を実際に指揮する下野竜也自らが子供たちのためにプロデュースした公演企画をご提案いたします。</p> <p>【第1部】ベートーヴェンは音楽の授業等で必ず習う歴史的作曲家として誰もが知るどころですが、その代表作として紹介されるのが、この「運命交響曲」です。特に冒頭部分の「ジャジャジャジャー」が有名ですが、実は全曲を聞く機会は意外に少なく、子供たちにとっては恐らく初体験となるのではないのでしょうか。本事業を申請するにあたり、このまたとない機会に、是非とも全曲通して聴いてほしいという下野竜也の熱い想いが込められています。また広島交響楽団にとっても「運命交響曲」は特別で、楽団が創立した60年前、その記念すべき「第1回定期演奏会」で演奏した演目でもあります。作曲家としては致命的とも言える難聴障害を抱えながらも作曲家として生きていく強い決心と不屈の精神を、広島戦後復興に身を投じた先人たちの思いに重ねた選曲です。上記選曲理由に加えて、子供たちにはプロの演奏家が真剣に、必死に演奏する姿に、何かを感じとっていただければ嬉しく思います。</p> <p>【第2部】後半は、子供たちにオーケストラ音楽に親しみを持っていただくために、『クイズ de オーケストラ』や指揮者体験コーナーなどの参加型演目を実施します。「もっと音楽のことが好きになる！」を目指して企画させていただいております。</p> <p>※昨年度実施した公演内容ですが、大変好評をいただきましたので今年度も申請させていただきます。</p>	
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>① ベートーヴェン「運命」についてのレクチャー(事前指導)はワークショップや、可能な範囲で音楽の授業にも取り入れていただくことで行います。本公演においては、初演当時と同じく運命的な出会いを演出し、体験いただくため、解説なしで演奏を始めます。</p> <p>② マエストロの楽器紹介『クイズ de オーケストラ』…ジョン・ウィリアムズ:「スター・ウォーズ」より、有名なメインテーマの冒頭を、各楽器群(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器)ごとに分解して演奏し、曲名を当てクイズです。それぞれの楽器がどんな音を奏でているか? 皆が合わさるとどんな響きになるか? マエストロの面白い解説とともに、楽器について楽しく学ぶことができます!</p> <p>④ 指揮者体験コーナー…会場の皆さんには、指揮者によるレクチャーと一緒に学んでいただきます。指揮者の役割とは? 曲の始めや終わりをオーケストラへどのように合図をすれば良いのか? 音の強弱や表情など。レクチャー後に2名の方に実際に指揮台でオーケストラを指揮していただきます。その時は自由に手拍子や掛け声等、みんなで応援しよう。</p> <p>⑤ 校歌…校歌を公演のためにオーケストラ版にアレンジします。迫力のフル・オーケストラの伴奏と一緒に歌いましょう!</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名	広島交響楽団 】
指揮者プロフィール	<p>【下野竜也 (しものたつや)】 プロフィール 広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブルグフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、</p> <p>チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。</p> <p>読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)を経て、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には、同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。</p> <p>これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。</p>		
オーケストラプロフィール	<p>【広島交響楽団】 プロフィール 国際平和文化都市“広島”を本拠地に“Music for Peace ～ 音楽で平和を”をテーマに活動する中国地方を代表するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。</p> <p>クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和の夕べ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。</p> <p>1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年8月にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。高い評価を受けた2017年の下野竜也の就任披露のブルックナー：交響曲第8番の音源配信に続き、今年度、新たに下野とのブルックナー：交響曲第5番のCDもリリースした。2020年11月の大阪公演ではブルックナー：交響曲第4番「ロマンティック」を下野の指揮で熱演し、好評を博した。</p> <p>「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞歴多数。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名	広島交響楽団 】
指揮者プロフィール	【鈴木織衛（すずき おりえ）】プロフィール		
	<p>オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者、東京藝術大学指揮科講師。 東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中より作曲家・故中田喜直氏の薫陶を受け、氏とのジョイントコンサートにより、ピアニストとしてデビューを果たす。日本屈指のオペラ団体・二期会において、数々の作品に指揮者、合唱指揮者、コレペティとして、また齊田正子、錦織健氏など人気声楽家のピアノ伴奏者として活躍した。1996年ベルリンでのドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。2010年、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者に就任。多くの日本のオーケストラとの共演を重ねている。2018年11月にはオーケストラ・アンサンブル金沢とヴェルディの歌劇「リゴレット」を上演し、好評を得る。</p> <p>また、ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子氏をはじめ多くのコンサートを指揮、レコーディングにも参加している。広島交響楽団へは平成18年(2006年)より多くの公演に出演。特に子供のための公演については、「本物の舞台芸術体験事」の時から、現在の「文化芸術による子供の育成事業」まで文化庁主催の事業に毎年出演している。</p>		

